

深みある響きとみなぎる鮮烈な音楽表現能力、
若き才能との注目の響演!



©Martin Sigmund

©Ben Krutke

アンドレス・オロスコ=エストラーダ <音楽監督・指揮>

フランクフルト 放送交響楽団

hr-Sinfonieorchester

Andrés Orozco-Estrada, Music Director/Conductor

水晶のごとき輝きを放つ新星



ダニエル・ロザコヴィッチ
Daniel Lozakovich, Violin
©Sergey Andreev

2018.
6.9 (土) 19:00 開演
(18:20開場 21:00 終演予定)

SY16,000 AY14,000 BY11,000 CY8,000 DY5,000
[ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金]
SY15,000 AY13,000 BY10,000 CY7,200 DY4,500

ミュゼザ川崎シンフォニーホール

JR川崎駅西口より直結徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分
7:00p.m., Saturday, June 9, 2018, at Muza Kawasaki Symphony Hall

ワーグナー：歌劇「リエンツィ」序曲
Wagner: Rienzi Overture

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64
Mendelssohn: Violin Concerto in E minor, Op.64

ダニエル・ロザコヴィッチ (ヴァイオリン) Daniel Lozakovich, Violin

ドヴォルザーク：
交響曲 第9番 ホ短調 Op.95 「新世界より」
Dvořák: Symphony No.9 in E minor, Op.95 "From the New World"

2018.
6.14 (木) 19:00 開演
(18:20開場 21:15 終演予定)

SY18,000 AY16,000 BY13,000 CY10,000 DY7,000
[ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金]
SY17,000 AY15,000 BY12,000 CY9,000 DY6,300

サントリーホール

東京外口・浦田山王駅13番出口徒歩10分、六本木一丁目駅3番出口徒歩5分
7:00p.m., Thursday, June 14, 2018, at Suntory Hall

ラフマニノフ：
ピアノ協奏曲 第2番 小調 Op.18
Rachmaninov: Piano Concerto No.2 in C minor, Op.18

チョ・ソンジン (ピアノ) Seong-Jin Cho, Piano

マーラー：
交響曲 第5番 嬰ハ短調
Mahler: Symphony No.5 in C-sharp minor



チョ・ソンジン
Seong-Jin Cho, Piano
©Hans-Joachim Hoffmann/DG

若き巨匠で聴くラフマニノフ大作第2番

夢倶楽部会員WEB 11/25 (土)・夢倶楽部会員TEL 11/26 (日)・ジャパン・アーツびあネット会員 11/30 (木)

※ ジャパン・アーツ夢倶楽部会員先行発売などで満席になった席種は、以降発売されません。

〈お申込み〉ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040 www.japanarts.co.jp

一般発売 12/2 (土)

[ジャパン・アーツびあ 年末年始の営業時間のお知らせ]

・ジャパン・アーツびあコールセンター 2017.12/28 (木) 18:00まで 2018.1/6 (土) 10:00より
・WEBジャパン・アーツびあ 2018.1/2 (火) 23:00まで 2018.1/5 (金) 18:00より

○ チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード: 川崎公演348-831/東京公演348-832)

○ イープラス eplus.jp ○ ローションチケット 0570-000-407 (Lコード32464)

○ 神奈川芸術協会 045-453-5080 www.kanagawa-geikyo.com (川崎公演のみ)

○ ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 (川崎公演のみ) ○ サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (東京公演のみ)

協力: ミューザ川崎シンフォニーホール (川崎市文化財団グループ) (川崎公演のみ) マネジメント: 神奈川芸術協会 (川崎公演のみ)

主催: 日本経済新聞社 / ジャパン・アーツ 後援: ドイツ連邦共和国大使館 協賛: 富士通株式会社



FUJITSU

shaping tomorrow with you

歴史と伝統を誇るフランクフルト放送交響楽団が、 アンドレス・オロスコ=エストラーダとのコンビで新たな時代を築く。 若きソリストとの熱き音の対話に心が高揚する

フランクフルト放送交響楽団は1929年創立の歴史と伝統を誇るオーケストラ。弦楽器は豊かこうとう上質な音色を特徴とし、管楽器はダイナミックで輝かしい響きを備えている。長年に亘りその特質を保持し、インバル、キタエンコ、ウルフ、P.ヤルヴィら歴代の指揮者のもとで時代に合った演奏を展開してきた実績は、欧米で高い評価を得ている。とりわけマーラーとブルックナーの交響曲を得意とし、録音でも名演を残してきた。

2014年、コロンビア出身のアンドレス・オロスコ=エストラーダを首席指揮者に迎え、オーケストラは新時代を築くことになる。オロスコ=エストラーダはウィーンで学んだ、いまでもっとも勢いのある指揮者のひとりと称される。情熱的でオーケストラを自在に鳴らす術は爽快感に富み、カリスマ性があり、聴衆を湧かせることができる指揮者である。フランクフルト放送交響楽団とは、常に聴き手の心を高揚させる演奏を生み出している。彼はドヴォルザークを得意とし、今回はマーラー、ドヴォルザークで真価を発揮する。

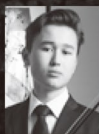
ソリストもワクワクするようなラインナップ。ヴァイオリンのダニエル・ロザコヴィチは2001年ストックホルム生まれ。7つの民族の血を受け継ぎ、語学も堪能。子どものころからチェスが得意でプロを目指したこともある腕前とか。すでに著名な指揮者、欧米各地のオーケストラとの共演を重ねる若き実力派で、演奏のたびに大きな話題となっている。幼いころに「ヴァイオリニストになる」と自分で決め、その道を邁進しているロザコヴィチ。みずみずしいメンデルスゾーンが期待できそうだ。

もうひとりのソリストはショパン・コンクールの覇者、チョンジン。正統的で純粋で心に深く響くピアノは、彼の率直な性格と音楽ひと筋の人生の現れ。ラフマニノフでは鍛え抜かれた美しい音色と、おおらかにうたう響きが披露される。チョンジンは、聴き慣れたロシア音楽に新風を吹き込むに違いない。

伊熊よし子 (音楽ジャーナリスト)

ダニエル・ロザコヴィチ (ヴァイオリン)

Daniel Lozakovich, Violin



フランス国立管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、スイス・ロマンド管弦楽団と定期的にヨーロッパ全土で共演しており、国際的なコンサートで人気の高いソリストとしての地位を迅速に確立しつつある。共演している指揮者には、アダム・フィッシャー、ウラディミール・スピヴァコフ、そして2015年の初共演以来固い芸術的協力関係にあるワレリイ・ゲルギエフがいる。2017/18シーズンの主な活動には、タンブルウッドでのアンドリス・ネルソン指揮ボストン交響楽団との待望の初共演などがある。ロバート・タムムのワルグネリア・フェスティバルなどの国際的音楽祭にも定期的に出演、また熱心な室内楽演奏者でもあり、エマニュエル・アックス、イヴリー・ギトリス、マキシム・ヴェネエフら等の著名アーティストと共演している。2001年ストックホルム生まれ。2007年からヴァイオリンを始め、2年後にウラディミール・スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴァルトウオージとの共演でコンサート・デビューを果たした。

チョンジン (ピアノ)

Seong-jin Cho, Piano



2015年10月に行われたワルシャワのショパン国際ピアノ・コンクールで優勝し、国際的な脚光を浴びる。その圧倒的な才能と自然な音楽性で、チョンジンはたちまち世界的な活躍を開始し、同世代の中で最も際立つアーティストのひとりとなされている。2017/18シーズン及び2018/19シーズンの主なコンサート活動には、ロンドン交響楽団と首席客員指揮者ジャンドレア・メセダ、ハンブルクのNDRエルバフィルハーモニー管弦楽団とクシシュトフ・ウルバンスキ、聖チェチリア管弦楽団とアントニオ・パッパーノ共演のツアール、ケルン放送交響楽団とマレク・ヤノフスキ、フィラデルフィア管弦楽団とヤニック・ネゼ=セガンとの共演が含まれる。また、リサイタルでもヴェルディ音楽祭、ラロック・ダンテロ、バーデン・バーテン祝祭劇場等、重要な会場で演奏する。2017年11月には、ランランの役役として、サイモン・ラトル指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との特別公演で、ラヴェルのピアノ協奏曲で初共演を果たした。

アンドレス・オロスコ=エストラーダ (音楽監督・指揮)

Andrés Orozco-Estrada, Music Director, Conductor



2014/15シーズンよりフランクフルト放送交響楽団 (fr-Sinfonieorchester) の音楽監督を務めており、その間に契約は2021年まで延長されている。1977年にコロンビアのメデジンで生まれ、ウィーンで学んだエストラーダは、同世代の指揮者のなかで今日もっとも人気のある一人である。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ドレスデン・シュターツカペレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、シカゴ交響楽団を含む世界の一流オーケストラと定期的に共演している。音楽はヴァイオリンから始め、15歳のとき指揮の勉強を始める。1997年、ウィーンへ渡り、権威あるウィーン国立音楽大学で、伝説的指揮者ハンス・スワロフスキーの弟子であるウルフ・ラヨビチに指揮を学んだ。

フランクフルト放送交響楽団 fr-Sinfonieorchester

ドイツ初の放送交響楽団のひとつとして1929年に創立されたフランクフルト放送交響楽団 (fr-Sinfonieorchester) は、伝統の維持と現代の一流オーケストラに求められる課題の挑戦という、微妙なバランス調整に成功し、世界の舞台上での演奏とリリースしたCDの数々の受賞で世界的に高い名声を博している。管楽器セクションの質の高さ、弦楽器の豊かな音色、そしてこのオーケストラの伝統であるダイナミックな演奏で定評があり、幅広い様式の音楽を人々に届けている。音楽監督であるエストラーダとともに、極上の音楽を演奏するだけでなく、楽し変化に富んだパトリートに取り組んでいく。CD録音では、ロマン派および後期ロマン派の楽曲の新たなスタンダードとなる革新的な録音を行って注目され、今では世界一流のマーラーおよびブルックナー演奏のオーケストラと評価されている。エリアア・フリンバから始まったこの音楽的伝統は、ドミトリ・キタエンコ、ヒュー・ウルフが音楽監督だった時代を経て、現桂冠指揮者バークホルツと受け継がれてきた。

(特別割引チケット)

(ジャン・アーツびあWEBサイト及びジャン・アーツびあコールセンター、神楽川芸術協会にて受付)

- 学生席 (各ラウンドの半額) ※残券がある場合、4/9(月)10:00より受付いたします。
 - ※ 社会人学生を除く公演当日 25歳までの学生が対象です。公演当日、入口にて学生証を拝見いたします。(学生証がない場合は一般料金の差額を頂戴する場合がございます。)
 - ジャン・アーツ事務本部員で学生の方も、学生券は一般料金の半額です。
 - シニア・チケット = 65歳以上の方はS席、A席を会員料金でお求めいただけます。
 - 車椅子の方は、本人付き添いの方1名までが割引になります。
- ※ジャン・アーツびあコールセンター、神楽川芸術協会のみで受付。必ず事前にご予約ください。

(次のことをあらかじめ承知の上、チケットをお求め下さい。① やむを得ない事情により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。② 公演中止を除き、お問い合わせいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。また、いかなる場合も再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③ 演奏中は入場できません。開演時間に遅れませんようご注意ください。④ 未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、就学児以上の方のみご購入には1人1枚チケットが必要ですが、⑤ 全席指定です。指定された座席でのご鑑賞をお願い致します。⑥ 場内での写真撮影・録音・録音・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合があります。

フランクフルト放送交響楽団2018年日本公演スケジュール (チョンジン出演)

| 日程 | 公演会場 | 問い合わせ先 |
|---------------------|------------------|--------------|
| 6/10 (日) 静岡グランシップ | ◇ グランシップチケットセンター | 054-289-9000 |
| 6/11 (月) 日本特殊開業市民会館 | ◇ CBCテレビ事業部 | 052-241-8118 |
| 6/13 (水) フェスティバルホール | ◇ フェスティバルホール | 06-6231-2221 |

※その他の公演については、ホームページに掲載いたします。

Twitterでフォローする@japan_arts

FUJITSU Human Centric AI

ジンライ
Zinrai

富士通のAI(人工知能)

FUJITSU

shaping tomorrow with you

「Zinrai(ジンライ)」は、人と協調する、
人を中心とした富士通のAIです。
最先端のAI技術で、
社会に新たな価値を創出します。